



平出隼仁 議員

パノラマスキー場が現況 課税でない理由は

減免を認める書類はない
が、減免をしている

質問……パノラマスキー場が借地契約をしている個人及び法人の固定資産税は、なぜ山林または原野での課税なのか。

町長……パノラマが始まって以来、地権者の承諾の下、この課税でやってきた。富士見町税条例第71条(4)において「町長が減免すると認めるもの」という特例により、認めてきた。

また現在、パノラマスキー場は再建の真っ只中であり、本来課税されべき宅地又は雑種地での課税であれば、年間に支払う借地料がおよそ1億円となる。現段階でこの課税をすれば、パノラマスキー場は倒産してしまって、この状況を維持する。

質問……事業の経営状況と税金は別問題である。民間事業者が苦しい経営を迫られている中でも、税の免除などありえない。なぜ、パノラマスキー場だけが特別扱いなのか理解出来ない。

また、この課税は、パノラマ開業当初からであり、「再建中である」という理由として認められない。

本来であれば、「町長が減免すると

認めるもの」という措置であつても、税条例において、その書類を備え付け

る必要がある。これを担保している書類が固定資産税を課する財務課において、「書類として残されていない」。

また、固定資産税課税台帳にも、その記録がない。何をもつて証明するのか。

町長……当時からそういうことになつていて、何を言わてもこの状況は変わらない。

財務課長……書類がないというだけであり、減免している。

質問……減免しているということであれば、なぜ山林又は原野で課税をしている。何を言わてもこの状況は変わらない。

町長……パノラマが始まって以来、地権者の承諾の下、この課税でやってきた。富士見町税条例第71条(4)において「町長が減免すると認めるもの」という特例により、認めてきた。

また現在、パノラマスキー場は再建の真っ只中であり、本来課税されるべき宅地又は雑種地での課税であれば、年間に支払う借地料がおよそ1億円となる。現段階でこの課税をすれば、パノラマスキー場は倒産してしまって、この状況を維持する。



小池 勇 議員

メガソーラー計画の問題点は

すべての課題をクリアーできた

質問……林地開発上の問題点は。

町長……さまざまあるが、全て県の審査をパスできる見通しは立っている。

質問……メーカー選定における具体的な考え方。

町長……選定委員会(FMK社員・町職員・平岡区長・鳥帽子区長・商工会会長)で、16項目について合議の上点数化収益性(100点)、長期安定性・信頼性(85点)、地元貢献(15点)で評価し、8月31日にNTTファシリティーズを候補として選定した。

質問……関係企業倒産の心配は。

町長……NTTファシリティーズについては心配していない。パネル等の部品供給の候補はシャープだが、万一倒

産するに至らざりがつても後継企業により供給される。最悪でも代替品で対応は可能である。

質問……7月臨時会で提示された基本的枠組みはクリアーできたか。

町長……すべての課題をクリアーできただと考へている。住民懇談会で町民の皆さんのが意見を伺った上で、10月2日の臨時議会で町の意思決定機関である議会に諮る。

2回の臨時議会で町の意思決定機関である議会に諮る。

■無料塾の総括について

質問……得られた成果は。

教育長……教育によるまちづくりと

いう夢のある事業の第一歩としては十分な手ごたえを感じた。特に、一般社会を経験した講師陣による指導は、単なる学力向上以上の好影響を生徒に与えてくれた。

質問……今後の課題と対応策は。

教育長……受講希望者が予想外に多く、講師が不足したため、きめの細かい指導が出来なかつた面がある。秋以降も継続するつもりだが、講師確保は課題が残る。

質問……予算措置に対する要望は。

町長……必要な経費は出すとの町長答弁はありがたい。先進事例に学び、教育立町を目指すには、一層の支援を期待したい。